

2017年度 自己評価（教職員編）の結果及び改善策

I 「保育の計画性」についての評価結果及び改善策

- ・ 子供が主体となり子供達で考えて遊んだりしているところが良いと思う。子供達の感性や色々な経験を保育の中でしていけるところも良いと思う。
- ・ 年間計画をしっかり立て、その時々の子供達の成長に合わせ臨機応変に対応していきたい。
- ・ 理解しているつもりで日々を過ごしているうちに忘れてしまう事もあるので、時々園の教育目標や幼稚園教育要綱を読み返すなど、必要に応じて振り返るようにしながら日々の保育にあたるようにしている。
- ・ 具体的な計画は、子供の様子や予測される場面を考えて細かく立てることでゆとりや柔軟性のある対応ができるので、今後も務めたいと思う。また保育者との連携を大切にしたい。
- ・ 幼稚園教育要領については理解ができていないことが多い。年間の保育計画を見返しながらすすめているが、計画通りにできていないこともある。
- ・ 自分の保育についての反省を日々行なうことで、次回に活かされたいと思っている。まだ勉強不足と感じる
- ・ 保育の面では4年目で少し慣れてきたがこれで良いと思っているのではなく、初心を忘れず、より良い保育が出来るように努める。
- ・ 毎日の保育を振り返り見直し、他の保育者と意見交換や相談できる時間を毎日持つことで、次の目標が明確になった。
- ・ 新園舎の建築が始まり園庭での遊び場の制限があるなど不便もあったが、園外の公園などに積極的に出かけていき活発な活動ができていたように思う。
- ・ 担当が立てた保育安を共通の意識を持って補助できるようにしていきたい。
- ・ 担当がやりたいことをできるよう、自己主張はしないよう気をつけている。

II 「保育の有り方、幼児への対応」についての評価結果及び改善策

- ・ ここに最も気をつけて日頃の保育に取り組んでいる。
- ・ 一人ひとりの子どもに寄り添っての対応ができていない時があった。同じ声掛けやパターンになってしまった。
- ・ 子供のことを第一に考え、一人ひとりがクラスの子はもちろん他のクラスの子供達と触れ合ったり遊んだりしているところが良いと思う。
- ・ 個々の気持ちをしっかり受け止め、子供達の遊びを展開していくきっかけや手助けができるよう、保育の幅を広げていく努力をしていきたい。
- ・ ハンディーのある子が楽しく安心して過ごせるよう配慮しつつ、クラスの中では皆と同じ仲間だとお互いに思えるような働きかけをしつつ、保育者も一緒に楽しみ信頼関係を築けるように心がけている。
- ・ 子供の安全面は常に気をつけている。そのためにも活動の準備をしっかり整え、気持ちの安定を図りたい。
- ・ 子供のことを考えて関わるようにしているが、自信のない事や悩んだ時には他の先生に相談しながら進めている。
- ・ 神様から預かった一人ひとりの子供達を大事にすることが一番だと思っている。
- ・ 子供達への言葉は保育者として良くないなあと、ハッとする場面もあるのですぐ直していきたい。
- ・ 各クラスの保育者がクラスの枠にとらわれず幼児の対応を柔軟にしていることは大変望ましい。個々の様子を見守り一人ひとりに合った配慮ができるようこれからも保育者間の意見交換、話し合いを大切にしていきたい。
- ・ 子供の気持ちに寄り添い、適切な関わりができるように過ごしたい。保育終了後も振り返り反省する点があった場合は次に気をつけるようにしていく。
- ・ 子供への対応が一部乱暴になっているケースがあるが、本人に自覚があるのか疑問だ。

III 「保育者としての資質と能力」についての評価結果及び改善策

- ・ 一人ひとりが子供達の成長や色々なことを共有し合い、次に生かしている保育がとても良いと思う。
- ・ 初心を忘れず、常に新しいことに目を向け、向上心を持って保育することを意識し、子供達一人ひとりの言葉をしっかりと聞けるようにしていきたい。
- ・ 子供達の様子を見つつ、何をしたいか何を伝えたいかなど感じ取れるように目を配り、全面的に受け入れ安心して過ごせるように見守るようにしている。（配慮を必要とする子には特に）
- ・ 人としての人間性が表れると思うので常に気をつけている。
- ・ 家庭でのイライラを持ちこまない様に心がけているつもりでも態度に出ることもあるので今後は気を付ける。
- ・ 園全体が円滑に進めて行けるように広く細かく心配りが求められる立場だが、力足らずで反省も多い。子供達はもちろん職員みんなが安心の中で意欲をもって過ごせるように自己研さんを積むことが今後の課題だ。
- ・ 保育の場以外でも自分自身の行動に責任を持ち、生活するようになっている。
- ・ 自分の好きな子を集中的に構う姿勢が見られる。改善を要する。
- ・ 持ち帰りで重要書類を持っていく事があり、申告制にするなどの対応が必要。
- ・ 社会人として常に気をつけているが、提出物の出し忘れなどもなくしたい。

IV 「保護者への対応」についての評価結果及び改善策

- ・担任の先生との橋渡しになるよう心掛けています。
- ・できるだけ担任を通して関わるようにしています。
- ・バスやお迎いで子供の様子を伝えていることだけでなく、電話などでも伝えているところが良いと思う。またその事をクラスの保育者間でも共有しているところも良い。
- ・保護者との連絡を密に取り、信頼関係をしっかり築けるよう更に努力していきたい。
- ・担任を通して担当の子の様子を伝えてもらうようにして保護者が迷うことなく幼稚園に預けられるよう心がけている。
- ・丁寧な対応を心がけている。保護者をもっと理解する必要があると感じる。
- ・保護者への対応の難しさを感じている。
- ・連絡帳、電話などで丁寧に行なうようにしている。クレームなどもすぐに対応するようにしているが難しいと感じる。
- ・対応は難しく、色々考えて行なっているも嫌な印象を受けた保護者もいると思うので、特に言葉は気をつけたい。玄関などで子供と話している所も聞かれているので気をつけたい。
- ・丁寧な対応を心がけたが、保護者の相談に対して自分の思いや幼稚園の思いを線香させてしまう場面があったので、自分を含めて傾聴する姿勢を課題にしていきたい。
- ・どの保護者にも公平に、子供の様子を伝え、対応するように心がけている。
- ・クレームを共有せず、一部の職員のみで対応し、全体にも概要しか伝えないことがある。危機管理、特に外部との接触に関心が薄い。また警察などの介入を避ける傾向がある。

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての評価結果及び改善策

- ・やや関心が低いので評価も低くなってしまった。
- ・散歩などですれ違った人たちに挨拶しているところが良い。
- ・近くの公園の遊具が外されていて遊具が少ない分、坂、落ち葉、木の実などに興味を持っていた。それらを利用した保育を取り入れていけるよう準備していきたい。
- ・子育て支援に関して。兄弟の入会、入園につながる人が多いので大切に今後も進めて行ってほしい。
- ・自然とのふれあいは言葉では伝えられない感動があるので、機会を増やしおびのびとさせてあげたい。子育て支援などの機会により様々な親、子との出会いが良い刺激となった。
- ・近隣の小学校の行事や参観を見ることがあり、就学について改めて考える良い機会になった。
- ・現状で地域に目をむけたりすることは難しく、お散歩や園外に出た時に挨拶を交わすことぐらいです。今年、小学校へ参観に行った先生がいたので良い機会だと思った。
- ・小学校との連携ももっと取れるように自分でも勉強をしなければと思う。
- ・今年度は関わる機会が持てなかった。おじいちゃんおばあちゃんあそぼうデーでの地域の方との触れ合いや、ごはんちゃん活動での食材の買い物で地域のお店さんと触れ合うなど社会と関わる場面作りが出来る事を望む。
- ・季節ごとの花や木の実など子供と一緒に触れて感じる事ができるようにしている。

VI 「研修と研究」についての評価結果及び改善策

- ・積極的に研修会に参加している保育者が多いので良い。
- ・様々な研修に参加する機会があり、勉強になった。日々の保育に活かせるようにしていきたい。
- ・外部への研修は参加が難しいので本を読んだり研修の伝達を大切にしたりして今後につなげていきたい。
- ・乳児保育など勉強する機会をいただき感謝します。今後も様々な分野の研修に積極的に参加し役立てていきたい。
- ・保育者として専門性に関する研修・研究は日々の仕事に追われてできていないので勉強が必要だと思う。
- ・同じような研修に行くのではなく、様々なことを勉強して自分のものにしていきたいと考える。
- ・今年も特別支援研修に偏っていたように思う。しかし、苦日支部の主任会の運営委員で他園の先生達との関わりを多く持つことが出来た。情報交換や他園の様子を知ることができ、参考にさせていただくこともあった。また個人的には「わらべうた」などの研修に参加したが今後も研修には積極的に参加していきたい。
- ・職員の働き方は今後、多様化されていくと思うので、各機関の文章をよく読み、その時々で本部や園長と相談して決めていきたい。